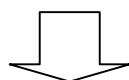


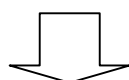
# 授 業 T i p s 集

篠山産業高等学校 高田 典幸

授 業 に お け る 問 題 点 ・ 課 題 の 特 定	
セールスポイント（掴み）	パワーポイントを使って、生徒の顔を上げさせよう！
<p>Before      After</p> <p>（何ができていなかったか） （何ができるか / 何ができたか）</p>	<p>Before</p> <p>読解をするとき、訳作りのために生徒が下を向くことが多くなってしまう。その間に解説をしても、なかなかその内容が聞き取れず、結局何が大事なのかが分からなくなってしまう。教師側も、板書に時間がかかる。</p> <p>After</p> <p>生徒が前を向いて授業を聞く機会が多くなった。また、教師も板書に時間をとられず、余裕を持って解説ができるようになった。</p>



改 善 策 の 検 討 （Plan） ・ 実 践 （Action）	
授 業 場 所	普通教室
授 業 形 態	(Key words) 少人数授業（１５名程度）
使 用 場 面	パワーポイントを用いた構文解説
使 用 I T	ノートパソコン、プロジェクタ、スクリーン
準 備 難 度	I T 中級者
対 象	高校２年生
単 元 名	ライティング
指 導 目 標	ライティング授業で、比較的短いパラグラフの構成を学習し、筆者が何を主張しているのかを明確にできるようにする。また、複雑な構文をパワーポイントの特性を生かして、ヴィジュアル的に理解できるようにする。
授 業 手 順	<p>（１）単語テスト</p> <p>（２）新単語の確認</p> <p>（３）全文を読んで、大意を把握する</p> <p>（４）本文の訳を意識する</p> <p>（５）パワーポイントで全文を流し、確認とする</p>



リ フ レ ク シ ョ ン ( 省 察 )	
I T 導入前	<p>パワーポイントで教材を作ることは、非常に面倒で、わずらわしいことであると考えていた。選択授業で、英語学習に意欲がある生徒であるので、従来の構文や、本文訳を単に学習するだけでは、意欲低下にもつながりかねない。また、解説、板書に非常に時間がかかり、退屈な授業になってしまっていた。</p>
I T 導入後	<p>IT 機器を導入したことで、最初は興味関心を持っていた反面、戸惑いもあった。しかし、回数を重ねていくにつれて、教師、生徒もリズムに乗ることができたし、授業にスピード感を持たせることができた。また、背景知識を添付し、画像として生徒の興味関心を高めることもできるため、「2度おいしい」という感がある。当初、わずらわしさを感じていたが、作るにつれて、自分なりにルールを決めたり、不必要なところを端折ったりできるようになり、手軽に作成することができるようになった。</p>
今後の課題	<p>今回の取り組みでは、音声を取り上げることができなかった。次回からは、音声を取り入れ、視覚、聴覚の2つを刺激できるような授業を展開していくよう、研究をしていきたい。</p>